



第3航空隊 P-1哨戒機 初飛行

彩雲

大和市自衛隊協力会新聞 第54号

発行責任者：谷 悟累
 大和市深見西2-6-28 (事務局)
 TEL：046-261-9700
 FAX：046-264-3511
 編集協力：第4航空群 広報室

新着任指揮官紹介



第51航空隊司令
1等海佐 平木 拓宏

◆プロフィール◆

出身地：鳥取県
 出身校：防衛大学校
 職種：固定翼操縦士
 趣味：野球
 着任：平成29年8月1日 第34代
 <前配置>
 平成28年5月30日
 第4航空群司令部 首席幕僚 (厚木)

大和市自衛隊協力会の皆様には、平素から格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。八月一日付、第五十一航空隊司令を拝命した平木でございます。第三航空隊司令、第四航空群司令部、第三回連続の厚木航空基地での勤務となります。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、大和市自衛隊協力会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして着任の挨拶とさせていただきます。



我が国を取り巻く安全保障環境が年々厳しさを増す中、自衛隊は本来の任務である我が国の防衛はもとより、大規模災害への対応など、果たすべき役割、付与される任務は多様化してきています。第四航空群においても様々な任務に対応するべく、これからの日々の任務や訓練に励み、精進、即応を維持していく所存です。今後とも変わらぬ皆様の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、大和市自衛隊協力会の今後益々の御発展と、会員の皆様



◆プロフィール◆

出身地：佐賀県
 出身校：防衛大学校
 職種：戦術航空士
 趣味：釣り、キャンプ、スキー
 着任：平成29年8月1日 第34代
 <前配置>
 平成28年7月 第2空隊司令 (八戸)

八月一日付、第四航空群司令部首席幕僚を拝命し、第二航空隊司令(青森県八戸航空基地)から着任しました今泉です。厚木航空基地は、五年ぶり、四回目の勤務となりますが、海上自衛隊の固定翼航空部隊で唯一、P-1哨戒機を運用する第四航空群



第4航空群司令部首席幕僚
1等海佐 今泉 一郎

平成二十九年一月十日(火) 第四航空群(群司令・松本完海将補)は、新年の幕開けに際し、今年一年の飛行安全を祈願して平成二十九年初訓練飛行を実施した。海上自衛隊第四航空群は、厚木航空基地に所在し、平素は固定翼哨戒機を運用し日本周辺海域の警戒監視活動などに従事している部隊である。

第四航空群 平成二十九年初訓練飛行

初訓練飛行にあたり整然と整列した隊員に対して、第四航空群司令は「P-1は他の部隊に先駆けて第四航空群に導入されている。この新たな能力を有する機体の運用に当たっては、より高い成果が期待されており、現状で満足してはならない。我々は使命を自覚し、最適な進路を開拓し、後続の部隊に適切な航路を提供しようではないか」と年頭の訓辞を述べた。

群司令の「かかれ」の号令とともに搭乗員達は、P-1哨戒機三機とP-13C哨戒機一機に乘込み、第四航空群の隊員達が見送る中、厚木航空基地を離陸し富士山の方向に飛び立った。ちなみに基地からは富士山を臨むことができ、空気の澄んだ冬の時期は特に美しく、第四航空群司令部をはじめ、隷下部隊である第三航空隊、第四整備補給隊及び厚木航空基地隊のスコードロンマークの中にも描かれている。当日は天候にも恵まれ、P-1の三機編隊



と撮影機のP-3Cが、澄み渡った空に映える冠雪した富士山を望みながら、相模湾上空に向かい訓練飛行し、今年一年の飛行安全を祈願した。



日米親善春祭り2017 (スプリングフェスティバル)



航空群（以下、四空群）の共催により今回で三回目となる。

駐機場では海上自衛隊のP-1、P-3C、C-130R、LC-190及びSH-60Kを展示。米海軍はP-8及び第五空母航空団に所属する各隊のFA-18などが並べられた。海上自衛隊のC-130R、LC-190及び米海軍のP-8では機内を一般公開した。日米それぞれの隊員と来場者



が記念撮影などを通じて交流するなど賑わいを見せた。また、米海軍の各飛行隊ではグッズ販売も行われ、岩国への移駐を意味してか、「SAYONARA」の文字が入ったグッズが販売されていた。



その他のイベントでは、四空群は制服などの試着、スタンプリリー、広報資料館を開放するなど年齢性別を問わず楽しめる催し物を行い、NAF厚木のイベントではバンド演奏、ピザやハンバーガーなどの模擬店が並んだ。NAF厚木の発表によると約九万人が訪れた。



日米「姉妹部隊」締結



同日、日米から約二百名の隊員が参加した締結式典において、第四整備補給隊司令は「我が国周辺を含む世界の安全保障環境が大きく変化する中で、より強固な日米同盟の確立及び部隊間連携の強化は重要である。これまで航空機運用部隊同士での関係締結はあったものの、日米の整備補給に携わる者同士となる姉妹関係を樹立することは、日米の部隊間連携をより確実なものにしていく上で大きな意味がある。」と締結の重要性を強調した。

また、米海軍厚木航空機中間整備分遣隊長は「海上自衛隊が太平洋地域を安定化させるために米海軍と築いてきた重要な戦略的かつ緊密な関係に心より感銘を受けた。米海軍厚木航空機中間整備分遣隊はこのシスターズコードロンの関係の樹立を機に、相互の新たな情報・意見交換の促進・発展を期待している。」と述べた。



日米両指揮官の挨拶、締結書及び盾の交換、キーカットの後に日米両部隊指揮官が笑顔で握手を交わした。

第四整備補給隊は、厚木航空基地で運用するP-1・P-3C哨戒機をはじめSH-60J(K)哨戒ヘリコプター及びC-130R輸送機の整備・補給を行う部隊である。一方、米海軍厚木航空機中間整備分遣隊(AIMD)は、主に西太平洋、インド洋及びアラビア湾に配備された米海軍航空隊への中間レベルのメンテナンスサポートを提供する部隊である。



両部隊は同型の航空機や航空エンジン等の整備を実施していることから、相互交流を深めようと第四整備補給隊からの呼び掛けにより本関係が実現した。今後は相互の協力関係を促進し、航空安全の維持向上及び

海上自衛隊厚木航空基地サッカー部 厚木マーカーカス活動状況

本年一月、大和市自衛隊協力会の皆様にもご協力頂き、地域交流の一環として、大和シルフィード(女子サッカーチャレンジリーグ所属)と合同練習を行った。なでしこリーグを目指すシルフィードと交流を持った事は、厚木マーカーカスにとって非常に貴重な経験となった。今後も大和シルフィードと交流を図り、互いに上位リーグ昇格できるよう、切磋琢磨していく。



また、四月に行われた第五十一回全国自衛隊サッカー大会において、厳しい試合の連続であっ

たが、公約通り優勝することができ、全国自衛隊サッカー大会の最多優勝記録を十八回に更新した。来年以後は自衛隊最強の座を渡すことなく過去にマークスが打ち立てた十二連覇の記録更新を目指していく。

神奈川県サッカーリーグ（一部）の成績は、全十八試合中七試合を終え、三勝二敗二引分けで、十チーム中四位である。関東リーグに昇格するためには、最低でも二位以内に入る必要があり、一年での関東リーグ返り咲きを目指し、残り十一試合をチーム一丸となつて戦っていくため、これまで以上に練習に励んでいる。

厚木マークス部長は、「日頃から厚木マークスを応援して下さる全ての方への感謝の気持ちを大切に、多くの方へ感銘を与えるサッカーができるよう、引き続き心技体の向上に励んでいきます。今後とも、厚木マークスをよろしくお願ひします。」とシーズン後半に向けて抱負を述べた。関東リーグへの昇格が期待される。



女子サッカーチャレンジリーグ所属シルフィードとの合同練習



第51回全自衛隊サッカー大会優勝

厚木航空基地 日米中級海曹交流

海上自衛隊第四航空群と米海軍厚木航空施設は、六月五日～七日の間、厚木航空基地において日米中級海曹交流を実施した。

日米中級海曹交流は、日米の中級海曹「二等海曹・P O ー2」各十二名の計二十四名（女



須賀地区において同様なのが二回開催されたが、厚木航空基地では初めての開催となった。

開催にあたり在日米海軍司令部（CNFJ）ジョー・ファニー最先任上級兵曹長及び、通訳（新垣由美子氏、Marie Pappas氏）並びに、厚木航空基地からは実行委員である第四航空群先任伍長 黒川純海曹長の他、航空集団先任伍長 小幡悟史海曹長、各隊先任伍長と上級海曹が支援を実施した。

初日は日米双方の自己紹介から始まり、夕方のスポーツ交流やB B Qにより親睦を深めた。二日目、三日目はグループディスカッションを実施した。ディスカッションは十二個の題目が用意され、それを三回に分けて実施された。日米お互いに言葉の壁がある中のディスカッションであったが、横須賀から応援にきてくれた通訳の支援により議論が深まった。日本人として初めて考える題目も設定されており、頭を悩ませながら議論をしている姿がみられた。それぞれの題目について、日米混成のグループがディスカッションによりひとつの答えを導き出す過程は、本目的の達成に大きく寄与するものであった。

最終日は、第四航空群司令 松本完海将補と米海軍厚木航空施設司令官 ジョンF. ブツシー大佐から、参加した日米中級海曹全員に修了証が渡された。また、三日間を通してリ

性六名を含む）が、職務指導やリーダーシップに関する意見交換等を通じて、海上自衛隊と米海軍の信頼関係の構築及び、人的交流の強化を図る目的で行われ、過去には横

グーシップや協調性、発言力に優れていたと思われる優秀隊員が日米各一名ずつ選出（海自三空 中鶴浩嗣二等海曹、米海軍 Teresa Domingo P O ー2）され表彰が行われた。最後に参加者全員による記念撮影を行い、三日間に及んだ日米中級海曹交流が終了した。机上の勉強に何百時間費やそうと一度の経験に勝るものはなく、参加した中級海曹が各部隊でその成果を直ぐに発揮できるとは限らないが、漢方薬のように体内からじわじわと効果が期待してこられる。日米の参加者にとって、この三日間を通して得られた経験はかけがえのないものとなるであろう。

多数所在し、海上自衛隊で最も交通量が多い飛行場として知られている。このため、各管制員には、多数の航空機を効率よく安全に誘導する高い管制技量が要求される。

換装前のG C A 装置は、平成三年から約

二十六年もの長きにわたり、無事故誘導二十万回を超え、延べ六十六名の航空管制員が技能証明を取得してきたが、近年、老朽化が著しく、新装置への換装が強く望まれていた。

この度、G C A 装置一式が最新の器材に換装され、これまでとは格段に性能が向上し、より安全かつ効率的な管制が可能となった。

特に、新G C A 装置の特徴として、従来の大きなスクリーン型と異なり、三十二インチの四角い液晶モニターを採用することにより、以前のように室内を暗くする必要はなく、室内照明を点灯した明るい環境下での管制業務が可能となった他、周波数選択等もタッチパネル式となり、機器の信頼性、整備性も大きく向上した。また、P A R（精測レーダー）



厚木G C A装置を 二十六年ぶりに換装

さる五月十九日、厚木航空基地隊（司令・今井 敬一佐）では、G C A（着陸誘導管制）装置換装の完成披露式典を第四航空群司令（松本 完海将補）以下、厚木基地内各隊指揮官臨席の下、挙行した。



厚木飛行場は、自衛隊機及び米軍機が進入を行うための装置が海上自衛隊として初めて、従来のアナログ式ではなくデジタル化されたため、航空機ターゲットの位置や高度をより鮮明に表示できるようになった。



富士総合火力演習学校予行

ホームページ委員 菊地 聡

平成二十九年八月二十四日(木) 東富士演習場にて行われた富士総合火力演習学校予行を見学してきました。



この演習には隊員約二千三百名、戦車・装甲車約八十両、各種火炮約六十門、航空機約二十機等が参加したそうです。

前段演習では、陸上自衛隊の主要装備である遠距離火力、中距離火力、近距離火力、ヘリコプター火力、対空火力及び戦車火力が紹介され、今年度



機動戦闘車 (MCV)



水陸両用車 (AAV)



末に配備される「機動戦闘車 (MCV)」と「水陸両用車 (AAV)」が初めて公開されました。



展開「及び「奪回」が公開されました。今年度も神奈川県隊友会県央支部様(会長・藤本正則氏)のご厚意により、当会からは七名が参加することができました。誠にありがとうございました。(ホームページ委員 菊地 聡)

ファミリー・サポート・センター 設立1年

厚木航空基地の隊員が緊急登庁する際、その子どもを支援団体の会員(提供会員)が預かるファミリー・サポート・センター事業が開始されてから一年が経過しました。当協力をはじめ厚木航空基地の支援六団体が活動しており、現在、受入れ家族は全九組となりました。当協力会からは高橋副会長御夫婦はじめ六家族の会員が支援者として参加しています。

ファミリー・サポート・センターでは、依頼・提供会員の申込みを随時受け付けておりますので、お気軽に事務局までご連絡下さい。詳しくは、当協力会ホームページをご覧下さい。



基地見学

六月十六日 厚木航空基地において、輸送機および哨戒機訓練装置の見学会が行なわれました。第六十一航空隊では「C-130」型輸送機を、第四整備補給隊では「P-1」哨戒機訓練装置を見学させていただきました。「C-130」型輸送機については、搭乗員の皆様が機内にて機体性能などについて丁寧に説明をしてくださり大変勉強になりました。「P-1」哨戒機訓練装置では実際にコックピットに着席し、離陸から着陸まで体験させていただきました。とても貴重な経験に、会員一同大変喜んでおりました。ご対応くださった隊員の皆様、本当にありがとうございました!

ダイビングショップ「ピースドルフィン」からのお知らせです! 皆様を素晴らしい海の中へエスコートさせていただきます! 一度は海の中を覗いて水族館より近い距離でお魚を見たい。必要な物は水着とタオル……そして好奇心です!!



ピースドルフィンでは初心者向けの体験ダイビングから本格的なライセンスコースまでインストラクターがしっかりサポートします!! 元自衛官の方や現役自衛官の方もオフの時間を海の中で楽しんで頂いています。大和から三浦方面や伊豆半島への日帰りツアーも開催しています。

《自衛官・会員様への特典》 2018年3月31日まで
①体験ダイビング 通常価格12,960円を半額の6,480円に!
②ダイバーファンダイブツアー 器材レンタルサービス!!
是非!お気軽にお問い合わせください!
ダイビングショップ「ピースドルフィン」
大和市中心3-4-12 山口ビル1階:大和駅徒歩5分
(046-265-6707)
HP <http://www.peacedolphin.com>



法人会員からのお知らせ



大和市自衛隊協力会 公式ホームページ

自衛隊員様に日頃の労をねぎらう場を提供できるよう、当協力会会員の飲食店をご案内しております!

スマートフォンでもご利用頂けます!

大和市 自衛隊 検索

<http://yamatoshi-jieitai-kyouryokukai.com/>

- ☆株式会社たかみち
- ・イベント、コンサートマネージメント
 - ・大和市大和東1-11-22 2F-B (株)ニューレイバー (受付)
 - ・046-200-9878
 - ・046-200-9879 (FAX)
 - ・隊員及び会員の方は、特別料金で対応させていただきます。
 - ※詳しくはお電話にてご相談下さい。
- ☆阿部 和広さん (大和市深見)
- ☆務台 法さん (大和市上草柳)
- ☆小澤 駿介さん (相模原市南区上鶴間本町)
- ☆渋谷 直樹さん (相模原市南区上鶴間本町)
- 【個人】(順不同)

- ☆アークホテル大和 (ビジネスホテル) 【法人】(順不同)
- ・大和市中心4-1-17
 - ・大和駅より徒歩1分
 - ・046-262-6611
 - ・隊員及び会員の方は、特別料金でご利用いただけます。
 - ※詳しくはお電話にてお問合せ下さい。

- ☆Pub スナック ORION (オリオン)
- ・パブ・スナック
 - ・大和市南林間1-8-3 サエラビル2F
 - ・046-204-6757
 - ・隊員及び当会員の方は、入店の際にお申し出ください。特典があります。貸し切りも可能です。(25名まで)

☆掲載をご希望された法人(個人)会員様を掲載させていただいています。
☆紹介欄にが掲載されている法人会員様は、お店等の入口付近に当協力会のシールが貼られています。

新規入会会員の紹介